

2020年度
大正大学入学試験問題
日本史

2020年2月3日

1ページ ~ 13ページ

(解答番号 1 ~ 40)

〔 I 〕 次の 1・2 の文章を読み、問 1～10 の設問に答えなさい。解答はそれぞれ㉠～
㉥の中から一つ選び、マークしなさい。

- 1 今から 1 万年余り前の完新世になると、気候は温暖化し、それにもなつて日本列島^①の植物や動物の様相も大きく変化した。縄文時代の人びとは、環境の変化に対応して、食料の獲得法を多様化させ、植物性食料^②の採取、狩猟、漁労^③のほか、クリ林の管理・増殖やマメ類・エゴマなどの栽培もおこなっていたらしい。人びとは呪術^④によって災いを避けようとしたり、狩猟の成功や食料の確保を祈ったりした。また、かなり^⑤遠方の集団とも交易をおこなっていたことも知られている。

問 1 下線部①に関する説明として、正しいものを選びなさい。

1

- ㉠ 西日本には亜寒帯性の針葉樹林が広がった。
- ㉡ 北日本にはシイなどの照葉樹林が広がった。
- ㉢ ナウマンゾウやオオツノジカなどの大型動物が増加した。
- ㉣ ニホンシカやイノシシなどの中小動物が増加した。

問 2 下線部②に関する説明として、正しいものを選びなさい。

2

- ㉠ 根茎類の掘りおこしなど土掘りには打製石斧^{せきふ}（石鋏^{いしぐわ}）が用いられた。
- ㉡ 植物性食料の摘み取りには石包丁が用いられた。
- ㉢ 植物性食料の盛りつけには石皿^{せきひ}や石匙が用いられた。
- ㉣ 収穫物の保管には高床倉庫が用いられた。

問3 下線部③に関する説明として、正しいものを選びなさい。

3

- ㊦ 釣針や銚などの骨角器は、まだ漁労具として使用されていなかった。
- ㊧ 丸木舟しかなかったため、沿岸での漁労に限られていた。
- ㊨ 漁労には細石器と呼ばれる小型の石器が用いられた。
- ㊩ 温暖化とともに海面が上昇し、入江が多くなったことが漁労の発達をうながした。

問4 下線部④に関する説明として、正しいものを選びなさい。

4

- ㊦ 土偶には、葬送儀礼や生前の首長が儀礼をとりおこなう様子が表現されている。
- ㊧ 呪術的風習を示す代表的な遺物として、男性の生殖器を表現した石棒がある。
- ㊨ ^{けが}汚れをはらい、災いを免れるために^{みそぎ}禊や^{はらえ}祓がおこなわれた。
- ㊩ 熱湯に手を入れて真偽を判断する神判の方法である盟神探湯がおこなわれた。

問5 下線部⑤に関する説明として、正しいものを選びなさい。

5

- ㊦ 北海道白滝や長野県霧ヶ峰などで産出する黒曜石が青森県三内丸山遺跡などから発見されている。
- ㊧ 銅鐸は近畿地方、平形銅剣は瀬戸内中部、銅矛・銅戈は九州北部を中心に分布している。
- ㊨ 関東地方のナイフ形石器や尖頭器には、新潟県姫川流域で産出するヒスイ（硬玉）で製作されたものがある。
- ㊩ 奈良県の^{まきむく}纏向遺跡からは、九州から東海地方までの広い範囲の土器が出土している。

2 8世紀には、農業技術が進み、次第に生産力が向上したにもかかわらず、農民は租税負担にくわえ、兵役や運脚などの負担があり、飢饉や疫病の流行なども重なって、生活は苦しかった。そのため、口分田を捨てて浮浪・逃亡するものが増えた。

⑦

720(養老4)年、藤原不比等が没すると、天武天皇の孫にあたる(A)が政権を

握った。政府は、人口増加による口分田不足を補い税の増収をはかるため、722(養老6)年には百万町歩開墾計画を立て、翌723(養老7)年には三世一身法を施行した。

問6 下線部⑧に関する説明として、正しいものを選びなさい。

6

- ㊦ 征夷大將軍となった坂上田村麻呂にしたがって、蝦夷との戦いや胆沢城などの城柵の築造に当たった。
- ㊧ 九州の要地を守る水城や、対馬から大和にかけての朝鮮式山城の築造に当たった。
- ㊨ 少数精鋭の健児として採用され、国府の警備や国内の治安維持に当たった。
- ㊩ 諸国の軍団で訓練を受け、一部の者は、衛士として都の警備や防人として九州の防衛に当たった。

問7 下線部⑦に関して、農民の窮乏生活をうたった貧窮問答歌が収められた歌集を選びなさい。

7

- ㊦ 『和漢朗詠集』
- ㊧ 『万葉集』
- ㊨ 『懷風藻』
- ㊩ 『古今和歌集』

問8 (A) に入る人物を選びなさい。

8

- ㊦ 橘諸兄
- ㊧ 長屋王
- ㊨ 藤原仲麻呂
- ㊩ 藤原武智麻呂

問9 下線部⑧に関する説明として、正しいものを選びなさい。

9

- ㊦ 国衙から臨時雑役などを免除された有力農民などが、一定の領域の開発を計画した。
- ㊧ 政府は、大宰府に公営田、畿内に官田を設けて直接管理・経営し、財源を確保しようとした。
- ㊨ 身分によって面積に制限はあったが、開墾した田地の私有が認められたため、貴族や大寺院が各地で大規模な開発を計画した。
- ㊩ 農民に食料・道具を支給して10日間開墾に従事させ、良田を開こうとした。

問10 下線部⑨に関する説明として、正しいものを選びなさい。

10

- ㉞ 開墾を奨励したものであったが、これによって開墾された田地も収公の期限が近づくと荒廃し、あまり効果はあがらなかった。
- ㉟ この法令が発布された年には、大仏造立の詔も発布された。
- ㊀ 財源確保を目指したもので、租税賦課の対象が人から土地に転換されることになった。
- ㊁ この法令により、山野の開墾を進めて大規模な農業経営をおこなう開発領主が出現することになった。

〔Ⅱ〕 次の1・2の史料を読み、問1～10の設問に答えなさい。解答はそれぞれ㉞～

㉟の中から一つ選び、マークしなさい。

- 1 コノ後三条位^{くわい おんとき}ノ御時、…… (A) ノ記録所トテハジメテヲカレタリケルハ、諸
① 国七道ノ所領ノ宣旨^{せんじ}・官符^{かんぷ}モナクテ公田^{くでん}ヲカスル^{*}事、一天四海ノ巨害^{こがい}ナリトキコ
シメシツメテ^{*}アリケルハ、スナハチ字治殿^{うじどの}ノ時、一ノ所^{いち}ノ御領^{ごりやう}御領トノミ云テ、庄
園諸国ニミチテ受領^{ずりやう}ノツトメタヘガタシナド云ヲ、キコシメシモチタリケル^{*}ニコソ……
②

(愚管抄)
③

- ※宣旨……官の命令を伝える文書。 ※官符……太政官からくらす文書。
※カスル……横領する。 ※キコシメシツメテ……ずっと聞いてきて。
※一ノ所ノ御領……摂関家領。
※キコシメシモチタリケル……聞き入れ、用いられた。

問1 下線部①の天皇に関して述べた文として、正しくないものを選びなさい。 11

- ㊦ 荘園整理令をはじめて出し、違法な土地の所有を禁止した。
- ㊧ 摂関家を外戚としない宇多天皇以来の天皇であった。
- ㊨ 大江匡房らの有能な人材を登用し、国政の改革に取り組んだ。
- ㊩ 柁の大きさを一定にし、その公定柁は「宣旨柁」と称された。

問2 (A) に入る語句を選びなさい。 12

- ㊦ 延喜 ㊧ 寛平 ㊨ 天曆 ㊩ 延久

問3 下線部②の人物として、正しいものを選びなさい。 13

- ㊦ 藤原信頼 ㊧ 藤原道長 ㊨ 藤原基経 ㊩ 藤原頼通

問4 下線部③の作者として、正しいものを選びなさい。 14

- ㊦ 慈円 ㊧ 西行 ㊨ 無住 ㊩ 虎関師錬

問5 1の史料に関する説明として、正しくないものを選びなさい。 15

- ㊦ 記録荘園券契所（記録所）がはじめて設置され、そこでは荘園の所有者から提出された証拠書類（券契）と国司の報告とをあわせて審査した。
- ㊧ 後三条天皇は、宣旨や太政官符もないのに公領（国衙領）が横領されている状況を改めようとした。
- ㊨ 諸国七道に摂関家領を称する荘園が多くなったことにより、受領は任務を十分に果たすことができた。
- ㊩ この荘園整理令により、貴族や寺社の支配する荘園と国司の支配する公領（国衙領）とが区分され、貴族や寺社は支配する荘園を整備していった。

問6 1の史料の前後におこった事件を、古いものから順に正しく配列したものを選びなさい。

16

- ㉞ 前九年合戦 → 後三年合戦 → 平忠常の乱
- ㉟ 前九年合戦 → 平忠常の乱 → 後三年合戦
- ㊱ 平忠常の乱 → 後三年合戦 → 前九年合戦
- ㊲ 平忠常の乱 → 前九年合戦 → 後三年合戦

2 (B) の町は甚だ^{はなは}広大にして、大なる商人多数あり、此の町はベニス市の如く執^こ政官^④に依りて治めらる。

(1561(永禄4)年 ガスパル=ヴィレラ書簡 耶蘇会士日本通信)
⑤

問7 (B) に入る語句を選びなさい。

17

- ㉞ 長崎
- ㉟ 堺
- ㊱ 博多
- ㊲ 桑名

問8 下線部④のように、この町の自治をおこなった人々を何と呼んだか、正しいものを選びなさい。

18

- ㉞ 町年寄
- ㉟ 会合衆
- ㊱ 年行司
- ㊲ 月行事

問9 下線部⑤に関して、この時代に来日した宣教師として、正しいものを選びなさい。

19

- ㉞ シドッチ
- ㉟ ルイス=フロイス
- ㊱ ボアソナード
- ㊲ レザノフ

問10 2の史料の時代の都市に関する説明として、正しいものを選びなさい。

20

- ㉗ 応仁の乱により荒廃した京都も町衆によって復興されていき、そのなかで祇園祭も再興された。
- ㉘ 浄土真宗の勢力の強い地域では、その寺院・道場を中心とした門前町がつけられた。
- ㉙ 伊勢神宮の宇治・山田、信濃の善光寺の長野などは寺内町として有名であった。
- ㉚ 対明貿易で栄えた大友氏の城下町山口では、京都から逃れた文化人が多く集まり、中央の文化が伝えられた。

〔Ⅲ〕 次の1・2の文章を読み、問1～10の設問に答えなさい。解答は㉗～㉚の中から一つ選び、マークしなさい。

1 徳川家康は、豊臣政権下の1590(天正18)年、(A)滅亡後の関東に移され、約250万石の領地を支配する大名となった。五大老の筆頭であった家康は、秀吉死後に政権内での影響力を強めた。

一方、五奉行の一人で豊臣政権を存続させようとする(B)と家康が対立し、1600(慶長5)年、家康を中心とする東軍と、毛利輝元を盟主にした(B)を中心とする西軍にわかれて関ヶ原の戦いがおこった。

これに勝利した家康は、西軍の諸大名を処分し、1603(慶長8)年、征夷大將軍の宣下を受け、江戸に幕府を開いた。

しかし、摂津・河内・和泉約60万石の一大名になっていた豊臣秀頼はいぜん(C)におり、財力と権威を保っていた。

1605(慶長10)年、家康は將軍職が徳川氏の世襲であることを諸大名に示すため、子の徳川秀忠に將軍職を譲った。

②

問1 下線部①に関する説明として、正しくないものを選びなさい。

21

- ㊦ ばく大な蔵入地（直轄領）を経済的基盤とし、佐渡などの主要な鉱山も直轄にして、天正大判などの貨幣を鑄造した。
- ㊧ 人返し令を出して、武家奉公人（兵）が町人・百姓になることや、百姓が商人・職人になることを禁じたため、諸身分が確定することとなった。
- ㊨ 太閤検地により、荘園制のもとで一つの土地に何人もの権利が重なりあっていた状態を整理し、検地帳には実際に耕作している農民の田畑と屋敷地を登録した。
- ㊩ 秀吉の晩年には腹心の家臣を五奉行として政務を分掌させ、徳川家康らを五大老として重要政務を合議させる制度ができた。

問2 (A) に入る語句を選びなさい。

22

- ㊦ 足利氏 ㊧ 上杉氏 ㊨ 織田氏 ㊩ 北条氏

問3 (B) に入る人物を選びなさい。

23

- ㊦ 明智光秀 ㊧ 石田三成 ㊨ 黒田長政 ㊩ 福島正則

問4 (C) に入る語句を選びなさい。

24

- ㊦ 安土城 ㊧ 大坂城 ㊨ 聚楽第 ㊩ 伏見城

問5 下線部②の人物のおこなったこととして、正しくないものを選びなさい。

25

- ㊦ 1616(元和2)年、中国船を除く外国船の寄港地を平戸と長崎に制限した。
- ㊧ 1619(元和5)年、豊臣秀頼を武家諸法度違反で改易した。
- ㊨ 1622(元和8)年、長崎でキリスト教の宣教師らを処刑した。
- ㊩ 1623(元和9)年には、將軍職を徳川家光にゆずり、大御所として幕府権力の基礎固めをおこなった。

2 全国に通用する貨幣を安定して供給することは、幕府の重要な役割であった。同じ規格・品質の金・銀貨幣は徳川家康が1600(慶長5)年頃から金座・銀座で大量につくらせた慶長金銀が日本で初めとされる。金座は江戸と京都におかれ、(D)のもとで小判・一分金などの計数貨幣が鑄造された。銀座では丁銀や豆板銀などの秤量貨幣を鑄造し、銭座では銭貨を大量に鑄造した。これらの貨幣は、三都や各城下町の両替商により流通が促進された。

しかし、金・銀・銭の三貨の交換比率は相場によってつねに変動するなど、貨幣制度は(E)年、新政府が新貨条例を定めるまで統一されなかった。

幕末になって外国との貿易をはじめると、日本と外国との金銀比価が違ったため、多量の金貨が海外に流出した。幕府は金貨の品質を大幅に引き下げる改鑄(万延貨幣改鑄)をおこなった。

問6 (D)に入る人物を選びなさい。

26

- ㉠ 後藤庄三郎 ㉡ 角倉了以
㉢ 荻原重秀 ㉣ 江川太郎左衛門(坦庵)

問7 下線部③の説明として、正しいものを選びなさい。

27

- ㉠ 江戸と京都などにも置かれたが、その後、金座とともに、江戸に統一された。
㉡ 江戸と近江坂本をあわせて10カ所前後開設した。
㉢ 寛永通宝を大量に鑄造した。
㉣ 藩札などの紙幣を発行することもあった。

問8 下線部④の説明として、正しくないものを選びなさい。

28

- ㊦ 両替商は三貨間の両替や秤量を商売とした。
- ㊧ 三都の三井、大坂の天王寺屋・平野屋・鴻池、江戸の三谷などがとくに有名であった。
- ㊨ 両替商が金座に代わり、小判などの金貨を鑄造することもあった。
- ㊩ 大坂や江戸の本両替など有力な両替商は、幕府や藩の公金の出納や為替・貸付などの業務をおこない、その財政を支えた。

問9 (E) に当てはまる年を選びなさい。

29

- ㊦ 1868(明治元) ㊧ 1869(明治2)
- ㊨ 1871(明治4) ㊩ 1872(明治5)

問10 下線部⑤に関して述べた文として、正しくないものを選びなさい。

30

- ㊦ 貨幣の実質価値が下がったので物価上昇に拍車がかかり、庶民の生活が圧迫されることになった。
- ㊧ 金銀の交換比率は外国では1：15、日本では1：5と差があったため、10万両以上の金貨が流出した。
- ㊨ 江戸時代に鑄造された小判の中で、万延小判の重量がもっとも少ない。
- ㊩ 金貨や銀貨と交換できない不換紙幣を発行した。

〔IV〕 次の 1・2 の文章を読み、問 1～10 の設問に答えなさい。解答はそれぞれ㉗～㉞の中から一つ選び、マークしなさい。

1 自由民権運動の中心的な結社であった立志社は、1877(明治10)年の西南戦争の最中に、国会開設などを求める立志社建白を天皇に提出しようとしたが、政府に拒否された。また立志社の一部が反乱軍に加わろうとしたことも関係して、自由民権運動は一時下火となった。しかし、翌年に愛国社の再興大会が開かれた頃から、運動は地主、都市の商工業者、府県会議員などにも広がっていった。

②
1880(明治13)年3月には、前年の愛国社第3回大会での呼びかけにもとづいて(A)が結成され、天皇宛の国会開設請願書を政府に提出しようとしたが、政府は受理せず、かえって4月に集会条例を定め、政社の活動を制限した。(A)は、同年11月に第2回大会を開いたが、運動方針がまとまらなかった。しかし、参加者の一部は、自由主義政党の結成に進むことを決め、1881(明治14)年10月、板垣退助を党首とする自由党を結成した。さらに翌年には、立憲改進黨も結成された。これに対し、政府も福地源一郎らを中心にして保守的な(B)党を結成させたが、民権派に対抗できる勢力にはならなかった。

問1 下線部①に関する説明として、正しいものを選びなさい。

31

- ㉗ 復古的攘夷主義を掲げる不平士族の敬神党(神風連)が熊本鎮台を襲撃した。
- ㉘ 江藤新平が郷里佐賀の不平士族に迎えられて征韓党の首領となり、政府に反乱をおこした。
- ㉙ 九州各地の不平士族がこれに呼応したため、政府は約1年を費やして鎮圧した。
- ㉚ 西郷隆盛を首領とする、私学校の生徒ら鹿児島士族を中心とした最大規模の士族反乱であった。

問2 下線部②に関する法令と同時に制定された法令の組合せとして、正しいものを選びなさい。

32

- ㊶ 普通選挙法：治安維持法
- ㊷ 郡区町村編制法：地方税規則
- ㊸ 工場払下げ概則：国立銀行条例
- ㊹ 市制・町村制：府県制・郡制

問3 (A) に入る語句を選びなさい。

33

- ㊶ 全国水平社
- ㊷ 交詢社
- ㊸ 日本労働総同盟
- ㊹ 国会期成同盟

問4 下線部③に関する説明として、正しくないものを選びなさい。

34

- ㊶ フランス流の急進的な自由主義をとらえた。
- ㊷ イギリス流の議院内閣制を主張した。
- ㊸ 都市の実業家や知識人の支持を集めた。
- ㊹ 明治十四年の政変で政府を罷免された大隈重信を党首とした。

問5 (B) に入る語句を選びなさい。

35

- ㊶ 立憲自由
- ㊷ 憲政
- ㊸ 立憲帝政
- ㊹ 日本自由

2 (C) 年7月の盧溝橋事件以後、第1次近衛文麿内閣は中国との戦闘の拡大の中で国民精神総動員運動を10月から展開し、挙国一致・尽忠報国などをスローガンにして国民に節約や貯蓄による戦争協力を求めた。

こうした戦時体制の形成にともない、思想統制や社会主義・自由主義思想への弾圧がさらにきびしくなった。1938(昭和13)年には、東京帝国大学の大内兵衛ら教授グループが反ファシズムの広範な運動組織を計画したとして検挙される (D) 事件もお

きた。また同年には、国家総動員法が制定された。

④
一方、昭和初期の文学界では、小林多喜二らの（ E ）と横光利一らの新感覚派
⑤
とが二大潮流をなしたが、1930年代前半の社会主義弾圧の中で、社会主義運動と結び
ついて発展した（ E ）は壊滅に追い込まれた。

問6 （ C ）に入る年を選びなさい。

36

- ㉠ 1930(昭和5) ㉡ 1933(昭和8)
㉢ 1935(昭和10) ㉣ 1937(昭和12)

問7 （ D ）に入る語句を選びなさい。

37

- ㉠ 三・一五 ㉡ 人民戦線 ㉢ 十月 ㉣ 三鷹

問8 下線部④に関する説明として、正しくないものを選びなさい。

38

- ㉠ この法令にもとづき、国民徴用令が制定された。
㉡ 政府は議会の承認なしに、戦争遂行に必要な物資・労働力を動員できるようになった。
㉢ 労働組合・労働団体は解散し、工場ごとに産業報国会が結成された。
㉣ この法令にもとづき、以後の各種統制法令が勅令によって発布された。

問9 （ E ）に入る語句を選びなさい。

39

- ㉠ プロレタリア文学 ㉡ 政治小説
㉢ 大衆文学 ㉣ 新思潮派

問10 下線部⑤に属する人物を選びなさい。

40

- ㉠ 与謝野晶子 ㉡ 菊池寛 ㉢ 火野葦平 ㉣ 川端康成